

平成17年度

自己評価結果

岐阜県立山県高等学校

学校番号 15

学校教育目標	本年度重点目標
校訓「自主積極」の精神のもと、真理と正義を愛し、個人の価値観を尊び、自由と責任を重んじ、心身ともに健康で、国際社会に貢献できる心豊かな人材を育成する。	① 基礎学力の定着 ② さわやかな挨拶の励行 ③ 部活動の充実 ④ 環境美化の推進

領域	重点課題	具体的方策	評価
学校経営	(1) 家庭や地域との連携を図る	①学校の教育方針や指導内容等の情報をHP・山高だより・各学年・クラス・分掌等の通信の発行・シラバス等で家庭や地域の方々に発信する。 ②学校評議員や保護者を対象にした公開授業を2回実施する。	B
学習指導	(1) 基礎学力の定着と主体的学習態度の育成	①習熟度別、選択履修、TT等を国語、数学、英語、商業で取り入れ、少人数指導を実施する。 ②学力向上フロンティアハイスクール事業を推進する。	A
	(2) 授業研究を積極的に行い、生徒の興味・関心を喚起するための授業の工夫、改善	①公開授業月間（研究授業を含む）を6月と11月に実施し、教師全員が自教科と他教科を最低1時間ずつ参観してその授業交流会を実施する。 ②シラバスを作成し生徒・保護者に配布する。	A
生徒指導	(1) 基本的生活習慣の確立	①毎朝昇降口で3人の教員が駆け込み遅刻者の指導をする。 ②生活日誌（ファイル）をつけさせることにより、生活態度の乱れを防ぐ。	A
	(2) 問題行動の未然防止	①問題行動を未然に防ぐために身だしなみ指導の徹底を図る。全体年8回 学年随時 ②生徒指導記録表（カード）を有効に使い、全職員で生徒指導を行う体制を整える。	B
進路指導	(1) ガイダンス機能の充実	①生徒が主体的に自己の在り方、生き方を考えた進路を選択・決定できるよう、進路講話、進路説明会、先輩と語る会等を充実し進路意識を高める。	A
	(2) 体験的な進路行事の充実	①地元企業施設研修・1年生体験学習を通して、望ましい勤労観、職業観を醸成する。	B
特別	(1) いい活躍、いい習慣、いい関係づくり	①生徒たちをさまざまな場面（春季・冬季スポーツ大会、体育大会、文化祭）で活躍させ、一人一人の良さ	A

活動		を認め自信をつけさせる。 ②生涯にわたって自分を支えていく“いい習慣・マナー・ルール”を活動や対話・交流の中で育む。	
	(2) 四つの集団づくり	①四つの集団(クラス・学年・部・全校)を活性化させ、相互作用をしながら目標に向かわせる。	B
健康教育	(1) 校内連携を密にし、組織的な学校保健、環境美化に努める	①肥満傾向の生徒への継続的な生活指導と運動指導を実施する。 ②1年生への健康指導の一環として「喫煙防止講話」や「救急法講習」を実施する。 ③美化委員・ボランティア委員等による校内外の花植えや環境美化に努める。	A
	(2) 安全教育及び管理の徹底	①想定した災害に応じた訓練を実施し、安全に迅速に行動できるようにする。	B

(A・・・非常によい B・・・よい C・・・やや悪い D・・・悪い)

○外部評価結果 課題	①授業を参観したいと思わないが35%、保護者が授業を参観する機会をよく設けていないが31%あった。 ②学校の教育方針や指導の内容を保護者へわかりやすく伝わっていない面がある。	◎改善 対応状況	①保護者が参観しやすいように祝日と日曜日に実施した。2回目は授業内容等を含めた文書を2回発行し、出席者数の増加に努めた。 ②連絡文書等は75%の保護者に確実に届けられているので、内容等の工夫をしてより読みやすいようにした。
---------------	--	-------------	--

総括・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上フロンティアハイスクール事業の研究は今年度で終了したが、少人数指導・インターンシップ・シラバスと授業評価・公開授業による相互研修等は今後も継続し、より研究を深めていく必要がある。 ・授業参観や学校行事で生徒の活躍している姿をより多くの保護者に見ていただくために、期日・時間・内容の充実等を考えたい。 ・周辺中学校から9割の生徒が入学してくるので、中学校との連携を深めるとともに地域との連携も図り、いろいろな情報を共有していきたい。
-------	--